3　学習評価の充実

新学習指導要領では、児童の学習状況を的確に捉え、教師が指導の改善を図るとともに、児童が自らの学びを振り返って次の学びに向かうことができるよう、学習評価の在り方を改善し、指導と評価の一体化を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指しています。

学習評価の在り方

◆　学習評価の重要性

新学習指導要領「総則」では、学習評価の目的を次のように示しています。

○　児童のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにする。
○　単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かす。

学習評価は、その目的を踏まえ、**授業改善と評価の改善を両輪**として行う必要があります。

学習評価の妥当性や信頼性を高め、学年や学校段階を越えて児童の学習の成果が円滑に接続されるよう、組織的・計画的に取り組むことが大切です。

◆　カリキュラム・マネジメントでの役割

各学校では、児童の学習状況を評価し、その結果を児童の学習や教師による指導の改善、教育課程の改善等に生かすことが大切です。

「学習指導」と「学習評価」は、学校の教育活動の根幹に当たり、教育課程に基づいて組織的・計画的に教育活動の質の向上を図る**「カリキュラム・マネジメント」の中核的な役割**を担っています。

◆　指導と評価の一体化

指導と評価の一体化を図るためには、教師が自らの指導のねらいに応じて授業での児童の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくことが大切です。

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通して各教科等における資質・能力を育成する上で、学習評価は重要な役割を担っています。

学習評価の改善の基本方針

◆　学習評価の課題

学習評価については、学校や教師の状況によっては、例えば次のような課題が指摘されています。

○　学期末や学年末などの事後の評価に終始している。評価の結果が児童の学習の改善につながっていない。
○　現行の「関心・意欲・態度」の観点を挙手回数やノート提出など、性格や行動面の傾向が一時的に表出された場面を捉えて評価している。
○　教師が評価をするための「記録」に労力が割かれ、指導に生かされていない。　　など

◆　改善の基本的な方針

学習評価を真に意味のあるものとし、指導と評価の一体化を実現するため、「児童生徒の学習評価の在り方について」（H31 年 1 月 中教審教育課程部会報告）では、学習評価の改善の基本的な方針を次のように示しています。

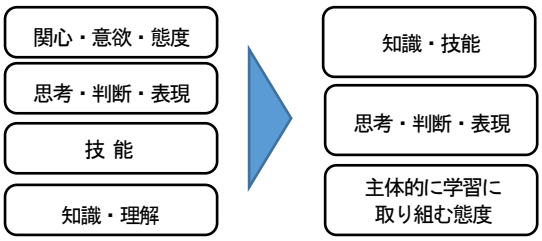
①児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと
②教師の指導改善につながるものにしていくこと
③これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと

学習評価の改善点

◆　評価の観点

各教科等における目標や内容が「資質・能力の３つの柱」に基づいて整理されたことを踏まえ、観点別学習状況の評価については、図１のように３観点に整理されました。

図１【評価の観点の整理】

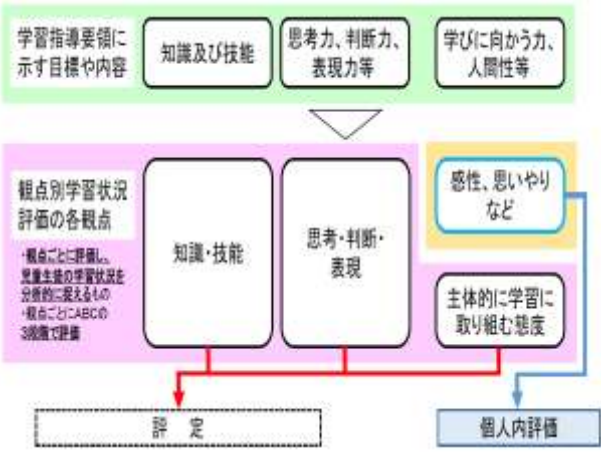


各教科の学習評価においては、学習状況を分析的に捉える「観点別学習状況の評価」と、これらを総括的に捉える「評定」の両方について、学習指導要領に定める目標に準拠した評価として実施します。

「観点別学習状況の評価」で示された観点は、分析的な評価を行うものとして、各教科の評定を行う場合において基本的な要素となるものです。

各教科における評価・評定は、図２のように行います。

図２【評価の基本構造】



◆　「知識・技能」の評価

学習の過程を通した知識及び技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既有の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価します。

◆　「思考・判断・表現」の評価

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価します。

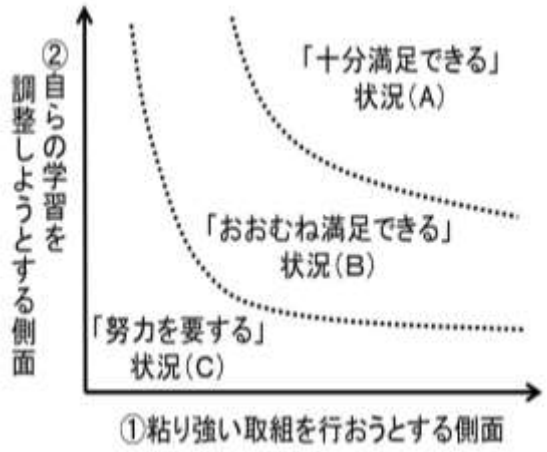
◆　「主体的に学習に取り組む態度」の評価

「学びに向かう力、人間性等」には、「主体的に学習に取り組む態度」として観点別学習状況の評価を通じて見取ることができる部分と、観点別学習状況の評価や評定にはなじまず、個人内評価を通じて見取る部分があります。（図２参照）

「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面　②粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面の２つの側面から評価します。

実際の評価の場面では、図３のように２つの側面を一体的に見取ることが大切です。

図３【「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ】



国研　学習評価の在り方ハンドブック　検　索